

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公表番号】特表2005-538391(P2005-538391A)

【公表日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2000-534697(P2000-534697)

【国際特許分類】

G 0 2 F 1/15 (2006.01)

C 0 3 C 17/25 (2006.01)

C 0 3 C 17/34 (2006.01)

C 2 3 C 18/12 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/15 5 0 7

C 0 3 C 17/25

C 0 3 C 17/34

C 2 3 C 18/12

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月12日(2005.8.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (a) (i) 溶剤、(ii) 可溶性リチウム供給源、および(iii) 可溶性バナジウム供給源を含む溶液を調製し、
 (b) 該溶液を基材に塗布して被覆された基材を形成し、
 (c) 該被覆された基材を加熱してリチウム化バナジウム酸化物を含む光学的品質のコーティングを形成すること、
 を含むリチウム化バナジウム酸化物被覆基材を調製する方法。

【請求項2】 前記溶液の調製が、水酸化リチウム、水酸化リチウム一水和物またはそれらの組み合わせおよび五酸化バナジウムまたはバナジン酸を水の存在下で組合せて水溶液を形成し、該水溶液を乾燥させて水を除去しリチウムおよびバナジウムを含む中間体を形成し、該中間体を有機溶剤に組合せることを含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】 (a) 請求項1に記載のリチウム化バナジウム酸化物被覆基材を形成し、

(b) 該リチウム化バナジウム酸化物被覆基材を(i) 電子伝導体および該電子伝導体上に付着されたエレクトロクロミック材料を含む第2の基材、および(ii) 電解質に組み合わせてエレクトロクロミック装置を作成することを含むエレクトロクロミック装置を作製する方法。